

1. 総合戦略の効果検証

総合戦略の体系と進捗管理

総合戦略の体系

大基本目標	小基本目標	具体的な施策
1 しごとの創生	1 安定した雇用の創出	① 地域産業の活性化、付加価値の向上 ② 就労への総合的支援 ③ 企業誘致の推進 ④ 農業の成長産業化
	2 ひとの流れの創出	① 地域資源・観光資源を生かした誘客 ② 関係人口の創出・拡大 ③ 地方居住の推進
2 ひとの創生	1 結婚・出産・子育ての希望の実現	① 母子保健サービスの充実 ② 子育て支援の充実
	2 地域を担う人材の育成	① 地域に根ざした特色ある教育の推進 ② グローバル教育の推進
3 まちの創生	1 時代にあった地域づくり	① 地域医療体制の充実 ② 住み慣れた地域で安心して自立した生活を送ることができる体制の整備 ③ 魅力ある居住環境の整備 ④ 交通体系の確立
	2 安心安全な暮らしの実現	① 安心できるまちづくり ② 空き家対策の推進

数値目標によりマクロ的な進捗を管理

重要業績評価指標（KPI）により施策単位の進捗を管理

数値目標の達成状況

数値目標一覧

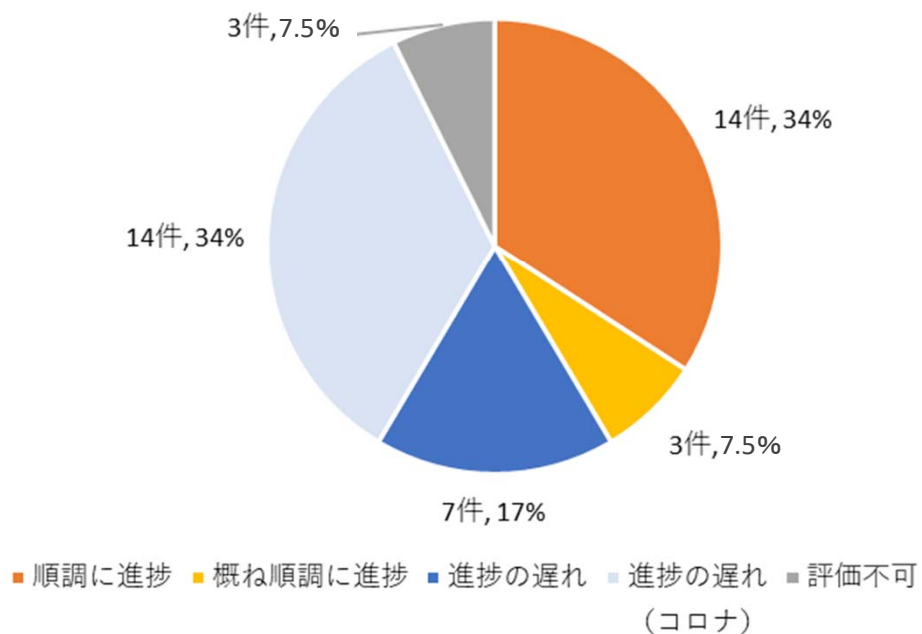
大基本目標	小基本目標	数値目標	令和4年度 目標値	目標値 (令和6年度)	令和4年度 実績値	進捗評価	進捗が遅れている理由
1 しごとの創生	1 安定した雇用の創出	新規求人数	1,587件	1,602件	1,486件	進捗の遅れ (コロナ)	コロナ禍による地域経済の停滞のため。
	2 ひとの流れの創出	年間観光入込客数	370万人	390万人	258万人	進捗の遅れ (コロナ)	イベント等について、一部中止や規模の縮小開催から、目標値に対し観光入込客数が減少した。
2 ひとの創生	1 結婚・出産・子育ての希望の実現	合計特殊出生率	1.62 (令和3年)	1.66 (令和5年)	1.35 (令和3年)	進捗の遅れ	KPIである出生数と同様に、仕事と子育てを両立できる環境整備の遅れや、結婚・出産に対する価値観の変化を背景とした、未婚化・晩婚化の進展が原因であると考えられる。
	2 地域を担う人材の育成	将来の夢や希望の実現に向け努力している児童・生徒の割合	81.0%	85.0%	76.4%	進捗の遅れ (コロナ)	コロナ禍において、教育活動や行事の中止・変更による
3 まちの創生	1 時代にあった地域づくり	伊勢崎市が住みよいと感じている市民の割合	75.0%	76.0%	74.1% (令和3年度)	概ね順調に進捗	
	2 安心安全な暮らしの実現	刑法犯認知件数	1,500件 (令和4年)	1,400件 (令和6年)	1,420件 (令和4年)	順調に進捗	

重要業績評価指標（KPI）の達成状況

重要業績評価指標（KPI）の全体集計及び基本目標ごとの集計

(n=41)

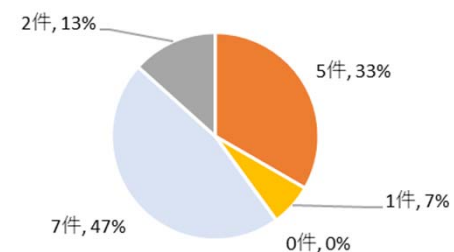
全体



基本目標ごとの集計

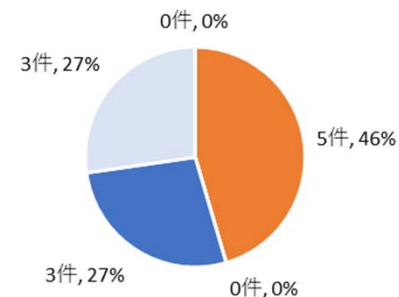
(n=15)

1しごとの創生



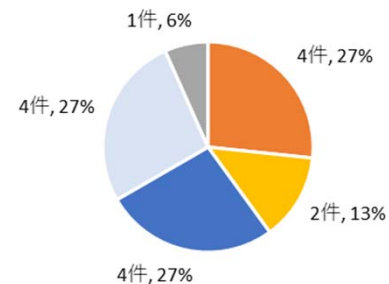
(n=11)

2ひとの創生



(n=15)

3まちの創生



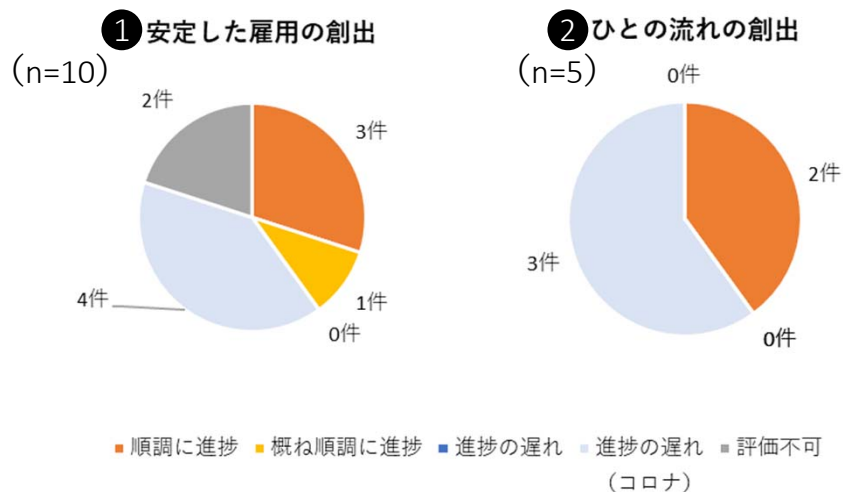
基本目標別の数値目標と重要業績評価指標（KPI）の達成状況

基本目標1 しごとの創生 における数値目標とKPIの達成状況

○数値目標達成状況

大基本目標	小基本目標	数値目標	令和4年度 目標値	目標値 (令和6年度)	令和4年度 実績値	進捗評価	進捗が遅れている理由
1 しごとの創生	1 安定した雇用の創出	新規求人数	1,587件	1,602件	1,486件	進捗の遅れ (コロナ)	コロナ禍による地域経済の停滞のため。
	2 ひとの流れの創出	年間観光入込客数	370万人	390万人	258万人	進捗の遅れ (コロナ)	イベント等について、一部中止や規模の縮小開催から、目標値に対し観光入込客数が減少した。

○KPI達成状況



○進捗状況

- ①
 - 地域産業の活性化や就労支援の施策においてはイベント関連業務を新型コロナウイルス感染症拡大の影響で通常通り実施できなかったこともあり遅れがでている。
 - 企業誘致の推進については、誘致場所の候補となるある程度の規模の産業適地がないことなどが課題であるため、産業団地の事業化等やサテライトオフィスや支店営業所等の開設を推進する必要がある。
 - 農業については、ほ場整備や新規就農者数の増加は順調である。
- ②
 - 観光関連の施策については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響でイベントを通常通り開催できなかった影響から遅れがでている。
 - ふるさと納税の寄付件数については目標値をはるかに上回る実績を残しているが、滞在型返礼品の利用割合は高くはない。
 - 地方移住の推進については、移住相談会等の参加者数が目標値を超え順調に推移している。

基本目標別の数値目標と重要業績評価指標（KPI）の達成状況

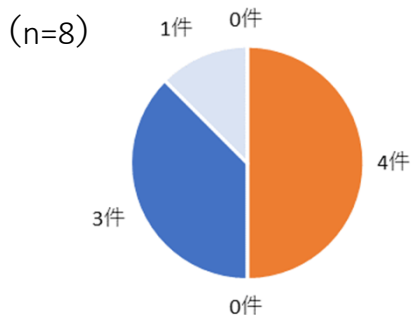
基本目標2 ひとの創生 における数値目標とKPIの達成状況

○数値目標達成状況

大基本目標	小基本目標	数値目標	令和4年度目標値	目標値 (令和6年度)	令和4年度実績値	進捗評価	進捗が遅れている理由
2 ひとの創生	1 結婚・出産・子育ての希望の実現	合計特殊出生率	1.62 (令和3年)	1.66 (令和5年)	1.35 (令和3年)	進捗の遅れ	KPIである出生数と同様に、仕事と子育てを両立できる環境整備の遅れや、結婚・出産に対する価値観の変化を背景とした、未婚化・晩婚化の進展が原因であると考えられる。
	2 地域を担う人材の育成	将来の夢や希望の実現に向けて努力している児童・生徒の割合	81.0%	85.0%	76.4%	進捗の遅れ (コロナ)	コロナ禍において、教育活動や行事の中止・変更による

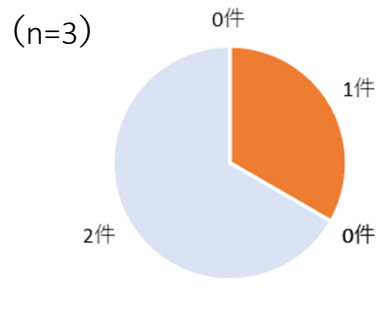
○KPI達成状況

① 結婚・出産・子育ての希望の実現



■ 順調に進捗 ■ 概ね順調に進捗 ■ 進捗の遅れ ■ 進捗の遅れ (コロナ) ■ 評価不可

② 地域を担う人材の育成



(コロナ)

○進捗状況

- 助産師による妊産婦相談や乳幼児健診の充実など子供を安心して産むために必要な取組を行ったが、進捗が遅れがでている。
 - 子育て支援の充実については、保育サービスの充実や子育て家庭支援の充実については順調に進捗しているが、地域ぐるみの子育て環境づくりは遅れがでている。
- 地域に根差した教育の推進については地域と連携した取組等による効果が表れているが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、大学等高等教育機関との連携には遅れがでている。
 - グローバル教育の推進については、イングリッシュサポーターの活用等をおこなってきたが、コロナ禍により対面によるコミュニケーションを図る活動が制限されたこともあり、遅れがでている。

基本目標別の数値目標と重要業績評価指標（KPI）の達成状況

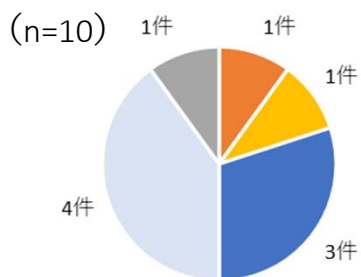
基本目標3 まちの創生 における数値目標とKPIの達成状況

○数値目標達成状況

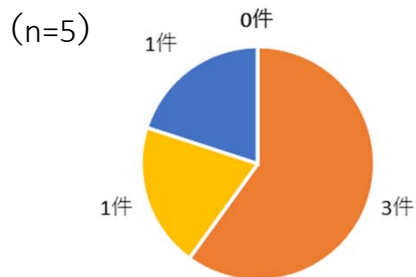
大基本目標	小基本目標	数値目標	令和4年度目標値	目標値 (令和6年度)	令和4年度実績値	進捗評価	進捗が遅れている理由
3 まちの創生	1 時代にあった地域づくり	伊勢崎市が住みよいと感じている市民の割合	75.0%	76.0%	74.1% (令和3年度)	概ね順調に進捗	
	2 安心安全な暮らしの実現	刑法犯認知件数	1,500件 (令和4年)	1,400件 (令和6年)	1,420件 (令和4年)	順調に進捗	

○KPI達成状況

① 時代にあった地域づくり



② 安心安全な暮らしの実現



■ 順調に進捗 ■ 概ね順調に進捗 ■ 進捗の遅れ ■ 進捗の遅れ ■ 評価不可
(コロナ)

○進捗状況

- 地域医療体制の充実については、休日夜間救急センターの開設など順調に進捗しており、今後は開業医の高齢化の対応が課題になる。一方で特定検診の受診率は目標を下回っており受診率向上に取り組む必要がある。
 - 地域での自立した生活の実現に向けての施策については新型コロナウイルス感染症拡大の影響で進捗の遅れがでている。
 - 魅力ある居住環境の整備については、中心市街地整備事業については順調に進捗している一方で、西部土地区画整理事業において遅れがでている。
 - 交通体系の確立については、公共交通の利便性向上や利用促進に取り組んでいるが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響でコミュニティバス、鉄道の利用者人数が目標値に達しなかった。
-
- 安心できる街づくりについては、防犯灯設置数については目標を下回ったが、災害時の協力体制の強化や交通安全教室の開催などは順調に進捗している
 - 空き家対策の推進については危険空き家の除却など概ね順調に進捗している。

2. 総合戦略の改訂方針

総合戦略にかかる国の動向

総合戦略をめぐる国の動向

平成27年度

まち・ひと・しごと創生総合戦略

【人口減少と地域経済縮小の克服】

1. しごとの創生
2. ひとの創生
3. まちの創生

令和2年度

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略

【将来にわたって「活力ある地域社会」の実現】【「東京圏への一極集中」の是正】

1. 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする
2. 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる
3. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
4. ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

抜本的改訂

デジタル技術の活用によって、地域の個性を生かしながら
地方の社会課題解決や魅力向上の取組を加速化・深化する

令和5年度

デジタル田園都市国家構想総合戦略

【全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指す】

- I. デジタルの力を活用した地方の社会課題解決
 1. 地方に仕事をつくる
 2. 人の流れをつくる
 3. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
 4. 魅力的な地域をつくる
- II. デジタル実装の基礎条件整備
 1. デジタル基盤の整備
 2. デジタル人材の育成・確保
 3. 誰一人取り残されないための取組

現在国の総合戦略
を勘案した地方版
総合戦略が求めら
れている

※令和9年度まで

総合戦略にかかる群馬県の動向

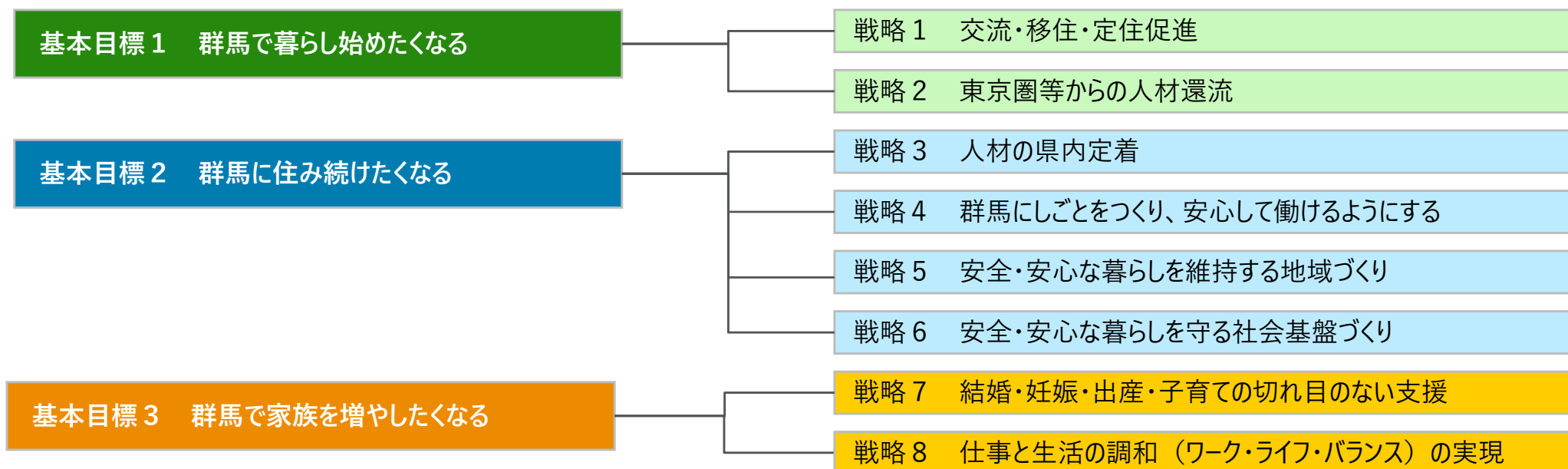
群馬県の動向

- 国が令和4年12月に「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定してことを受け令和5年10月を目途に策定（改訂）作業を進めている

○骨子案

名称	群馬県デジタル田園都市構想総合戦略（仮称）
計画期間	令和5年度から令和9年度までの5年
策定の考え方	新・群馬県総合計画と整合を図りつつ、デジタル化を踏まえた形に改訂 新・群馬県総合計画における本県の目指す姿を「地域ビジョン」（地域が目指すべき理想像）として盛り込む

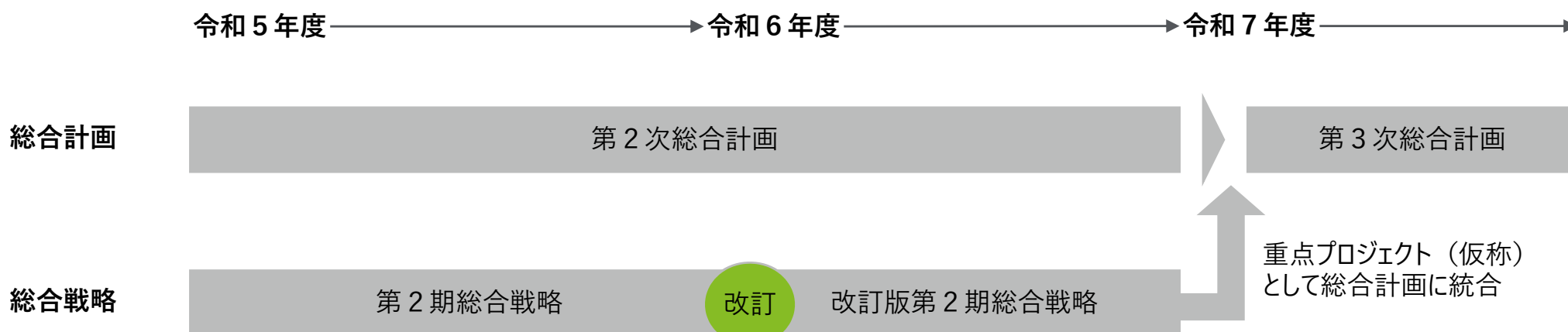
○政策体系案



総合戦略改訂の方向性

本市における総合戦略の改訂

- 国が令和4年12月に「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定してことを受け令和6年3月を目途に策定（改訂）作業を進めている



今年度行う改訂の概要

- 令和7年度を始期とする第3次総合計画と総合戦略を統合することを考慮し、今年度の作業を進める改訂については体系や施策の見直し等の大幅な見直しを行わないマイナーチェンジとする
- 具体的には以下項目について見直しを行う
 - ① 各施策においてデジタルを活用した取組を検討し追加
 - ② 国の調査の廃止等で把握できなくなったKPIの再設定
 - ③ 目標値と実績値に大きく乖離のある指標について目標値の再設定
 - ④ 取組の進捗を図るKPIとして、適当ではないと考えられる指標の再設定

総合戦略改訂の方向性

本市における総合戦略の改訂

① 各施策においてデジタルを活用した取組を検討し追加

(追加する取組の例)

- 「基本目標1 しごとの創生 安定した雇用の創出 ③企業誘致の推進」の主な取組にサテライトオフィス関連の取組を追加
- 「基本目標1 しごとの創生 ひとの流れの創出 ③地方居住の推進」の主な取組にオンラインの活用の要素を追加
- 「基本目標3 まちの創生 安心安全な暮らしの実現 ①安心できるまちづくり」の主な取組にSNS等の活用の要素を追加

② 国の調査の廃止等で把握できなくなったKPIの再設定

- 「基本目標1 しごとの創生 安定した雇用の創出 ①地域産業の活性化・付加価値の向上」のKPI「製造出品荷額等」については出典である工業統計調査が廃止。経済センサス及び経済構造実態調査へ出典の変更を検討する。
- 「基本目標1 しごとの創生 安定した雇用の創出 ③企業誘致の推進」のKPI「製造業の事業所数」については出典である工業統計調査が廃止
- 「基本目標1 しごとの創生 安定した雇用の創出 ③企業誘致の推進」のKPI「製造業の従業者数」については出典である工業統計調査が廃止

③ 目標値と実績値に大きく乖離のある指標について目標値の再設定

- 「基本目標1 しごとの創生 ひとの流れの創出 ②関係人口の創出・拡大」のKPIに「ふるさと納税寄付件数」があるが、目標値を大幅に上回っているため再検討を行う

④ 取組の進捗を図るKPIとして、適当ではないと考えられる指標の再設定

- 「基本目標2 ひとの創生 結婚・出産・子育ての希望の実現 ①母子保健サービスの充実」のKPI「出生数」については乳幼児健診の充実・強化の進捗を図る指標であるが、当該取組だけでは出生数に与える影響は一部分であるため指標を再検討する
- 「基本目標3 まちの創生 安心安全な暮らしの実現 ①安心できるまちづくり」のKPI「災害時協力協定締結数」については、地域の防災力の強化の進捗を図る指標であるが、他に適切な指標を設定できないか再検討する